

100歳の誕生日おめでとうございます



秦原静江さん
(鴨島町内原)
大正9年6月10日生まれ

美馬市穴吹町に生まれ、23歳で農家に嫁ぎ、酪農の傍ら民生委員を10年務められました。現在もご自宅で元気に生活されており、テレビの歌番組や時代劇を見ること、何よりお孫さんの成長を楽しみにされています。夕方、15分の散歩を日課とし、ご自身やご家族の人生の節目を考え、それまで頑張ろうと前向きに気力を維持することが長生きの秘訣だそうです。誕生日当日はご家族が見守る中、笑顔で市長から祝い状を受け取りました。

吉野川市内の100歳以上の長寿者は44人(女性40人 男性4人)になりました。

社会を明るくする運動・メッセージ伝達式

7月1日、市内の更生保護団体を代表して保護司会より市役所に内閣総理大臣メッセージ伝達式を行い、その後市内巡回啓発活動を行いました。

この取り組みは、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築くことを目的に行っています。



△内閣総理大臣メッセージ伝達式

質問 この前、グラグラの歯を抜いてもらおうと歯医者に行ったら、「おくりす手帳を見せてください。」と言われましたが、必要なのですか？

回答 「おくりす手帳」は医科を受診した後、調剤薬局で薬をもらう時に提示を求められることが多いでしょう。いきなり歯科医院で「おくりす手帳」の提示を求められることは少ないかもしれませんが、まず受診された際に問診で全身の状態を聞かれると思います。その時、内科的な病気や薬のアレルギーがあった場合に、詳しく服用中の薬の情報を得るために提示を求められると思います。

例えば、ご質問のような歯を抜くなどの外科処置をする時です。脳出血や脳梗塞、心筋梗塞などの病気がある方は、血液をサラサラにする薬を飲まれていることが多く、場合によっては処方された担当医と休薬の相談や、止血に使う装置などの準備が必要です。

また、骨粗鬆症の方は、その治療薬でビスフォスフォネート製剤が使われていると、外科処置ができない場合も

第51回 おくりす手帳

おしえて!! 歯医者さん

あります。

狭心症の持病があり、ニトログリセリンをお持ちの方は、治療中に発作が起きた時、すぐに対応できるように、薬をお手元に出しておいてもらうことが必要です。

腎臓や肝臓に病気のある方は、薬による副作用が出やすいので、歯科医院で処方する薬に注意する必要があります。

また薬自体にアレルギーがある方も気を付けなければいけません。

高血圧のさまざまな薬の一部には、歯ぐきが腫れやすいという副作用が出る場合もあります。

他にもさまざまな事例があり、歯科診療においても、患者さんの服用中の薬剤などを正しく把握する必要があります。歯科医院で「おくりす手帳」の提示を求められた際にはご協力をよろしくお願いいたします。

【吉野川市歯科医師会】

お口の質問を募集しています。下記までメールまたはFAXでお寄せください。

●お口の質問について(窓口)●

市市長公室 FAX 22-2244 メールアドレス m-koushitsu@yoshinogawa.i-tokushima.jp



できごと



お花のプレゼント

6月5日に認定こども園めぐみ幼稚園めぐみ保育園の園児が市役所を訪れ、お花のプレゼントがありました。



△認定こども園めぐみ幼稚園めぐみ保育園の園児から

江川の河川敷を彩る

6月の江川沿いの河川敷(鴨島町知恵島)に、色とりどりのユリなどの花が1,500本以上咲き誇り、水辺を彩っていました。

この場所では、鴨島町で活動している「江川奉仕橋かもクラブ」が草刈りをしたり、花の苗を植え付けたりして整備を行い、環境保護に努めています。



△色鮮やかな花々が河川敷を彩る

吉野川高校のシャインマスカットがふるさと納税返礼品に!

6月22日、吉野川高等学校農業科学科の生徒が栽培技術を学ぶ授業の一環として生産しているシャインマスカットが、本市と阿波市のふるさと納税の返礼品として登録され、同日に登録通知書の交付式が市役所で行われました。

生徒たちがまごころを込めて栽培し、工夫をこらした販売を行うなど、積極的に活動する中で「自分たちが育てた果実を全国に発信したい」という熱い思いが芽生え、吉野川高校と、高校校舎のある本市、実習農場のある阿波市の三位一体で取り組むこととなりました。

生徒たちの想いをのせたシャインマスカットが返礼品として全国の方にお届けできるよう、応援していきます。



△市長から登録通知書を受け取る3年生の妹尾有奈さん



△ジュシーで芳香豊かなシャインマスカット

鴨島支援学校との遠隔交流

6月23日、鴨島支援学校の生徒2名が作品を通じた交流の依頼のため、市役所を訪問しました。テレビ会議システムで学校や市役所、生徒の自宅をつなぎ、作品制作の様子などを見学し交流することができました。

エシカル活動の一環として廃材やハギレを使って制作した生徒の作品は、定期的に市役所で無料配布する予定です。市役所来庁時に見かけたら、ぜひお持ち帰りください。



△市長に説明する生徒



△テレビ会議システムでのやりとり